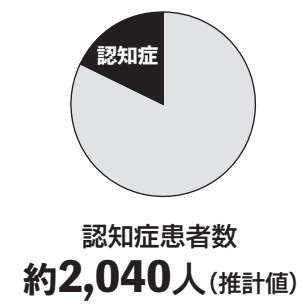


みんなで支える認知症

早めの相談早めの対応が大切です



65歳以上の高齢者
11,869人

新見市の65歳以上の
高齢者の約6人に1人が
認知症です

このページの一番下の
『新見版認知症ケアパス』
の中にも書いてあるよう



お気軽に
「相談」してください！

認知症は、超高齢社会を迎えた日本社会では、ごく一般的で、誰もがなる可能性のある病気です。厚生労働省の調査研究によると、65歳以上の高齢者の6人に1人(17.2%)が認知症であると言われています。令和3年2月末現在、新見市の人口が28,336人で、65歳以上の高齢者数は、11,869人です。このことより、新見市の認知症患者は約2,040人いると推計されます。

認知症は進行により4段階に分類されます。軽度認知症(MCI)の人は、日常生活に支障がない人がほとんどで、多くの人が中等度認知症に移行した頃に初めて診断を受けているのが現状です。

「あれ？」「何かおかしい」と気になることがあつたら、下記のようなさまざまなサポートがありますので、相談窓口までお気軽にご相談ください。

新見市には認知症の人と家族を支える仕組みがあります

相談窓口

- かかりつけ医
- 新見市地域包括支援センター ☎0867-72-6209
- 新見市在宅医療・介護連携支援センター まんさく ☎0867-88-8270
- こころの医療 たいようの丘ホスピタル ☎0866-22-8300
- 公益社団法人認知症の人と家族の会 岡山県支部
 - おかやま認知症コールセンター ☎086-801-4165
 - おかやま若年性認知症支援センター ☎086-436-7830



「認知症あんしんカード」には、
認知症の人とその家族を
支えるしくみや認知症の進行と
主な症状などをまとめています。

保険証	お薬手帳	介護保険 被保険者証	認知症あんしんカード	医療・介護 れんらく帳
診察券				

「医療・介護れんらく帳」は
ご本人や家族が安心して
毎日過ごせるように
医療・介護の関係者が
連携するための手帳です

認知症あんしんカード

新見市には認知症の人と家族を支えるしくみがあります

行政
新見市地域包括支援センター
TEL 72-6209

介護
介護事業所
認知症カフェ
見守りネットワーク
認知症サポーター

医療
病院・診療所

認知症初期集中支援チーム

行政
介護
医療

認知症あんしんカード

認知症初期集中支援チーム

介護事業所

認知症カフェ

見守りネットワーク

認知症サポーター

病院・診療所

認知症の進行と主な症状

チェック項目にチェックがついた方は、早めに新見市地域包括支援センターにご相談下さい。

軽度認知障害(MCI)	軽度認知症	中等度認知症	高度認知症	
認知症の疑い	日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助けや介助が必要	
本人の様子	□同じことを何度も繰り返す □日付や曜日がわからなくなる □寝い深くなったり、怒りっぽくなる □好きなことに興味がなくなる □探し物をしていて、何を探していたのか思い出せない	□同じ物を買ってくる □計画や段取り通りに行動できない □約束を忘れる □料理の品数が減ったり、味付けが変わる	□知っている場所で迷子になる □季節に合った服が着られない □着替えや入浴を嫌がる □徘徊が見られるようになる □すぐ興奮する	□トイレの失敗をする □家族の顔や人間関係がわからなくなる □話さなくなる □使い慣れた道具の使い方がわからなくなる □寝たきりになり、食べ物が食べられなくなる
家族の心構え	●地域行事やボランティアなど社会参加を働きかける ●趣味やレクリエーションを楽しむように働きかける ●家庭内でも役割を持ち、継続できるようにする	●接し方の基本的なコツを理解する ●家族間で介護のことについて話し合っておく ●相談窓口を見つける	●介護者自身の健康管理を行う ●介護サービスを上手に利用する	●合併症を起こしやすくなることを理解しておく ●どのような終末期を迎えるか家族間で話し合っておく
ひとり暮らし	可	可能	生活困難になってくる	
専門職の関わり	早めに相談	必要になってくる	必要	

早期発見
による
3つのメリット

① 早期治療で改善も期待できる
認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見し早期に治療をはじめると、改善が期待できるものもあります。

② 進行を遅らせることができる
認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができる場合があります。

③ 事前にさまざまな準備ができる
早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。

新見市には認知症の人や家族を支える仕組みがあります



認知症は早期発見、
早期対応が大切です

「あれ？」と思ったら
早めに相談しましょう

裏面のチェックリストを
参考にしてください



相談窓口

- かかりつけ医
- 新見市地域包括支援センター(72-6209)
- 新見市在宅医療・介護連携支援センター まんさく(88-8270)
- こころの医療 たいようの丘ホスピタル(0866-22-8300)
- 公益社団法人認知症の人と家族の会 岡山県支部
- ・ おかやま認知症コールセンター(086-801-4165)
- ・ おかやま若年性認知症支援センター(086-436-7830)

かかりつけ医

岡山県認知症疾患医療センター
(たいようの丘ホスピタル内)

認知症サポーター

高齢者等見守りネットワーク

認知症カフェ

介護者のつどい

ふれあい・いきいきサロン

認知症の人とその家族

認知症サポート医

新見市地域包括支援センター

認知症初期集中支援チーム
(地域包括支援センター内)

新見市在宅医療・介護連携支援センター
まんさく

居宅介護支援事業所

介護保険サービス
・デイサービス
・ホームヘルプサービス
など

心の健康相談
(備北保健所新見支所)

家族が作った

「認知症」早期発見のめやす

もの忘れ がひどい

- ☐ 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ☐ 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- ☐ 3. しまい忘れ置忘れが増え、いつも探し物をしている
- ☐ 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・ 理解力が 衰える

- ☐ 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ☐ 6. 新しいことが覚えられない
- ☐ 7. 話のつじつまが合わない
- ☐ 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・ 場所が わからない

- ☐ 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- ☐ 10. 慣れた道でも迷うことがある

人柄が 変わる

- ☐ 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- ☐ 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- ☐ 13. 自分の失敗を人のせいにする
- ☐ 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感 が強い

- ☐ 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- ☐ 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- ☐ 17. 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲が なくなる

- ☐ 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ☐ 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ☐ 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

〈 このチェックリストは「公益社団法人 認知症の人と家族の会」により作成されたものです 〉

一般社団法人 新見医師会

令和2年度 岡山県地域医療介護総合確保基金事業

(認知症ケアに係る医療連携体制整備事業)により作成